

千葉大学医学部附属病院で血管外植え込み型除細動器移植術を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月6日

麻酔・疼痛・緩和医療科/循環器内科

麻酔・疼痛・緩和医療科では、「血管外植え込み型除細動器移植術における神経ブロック併用全身麻酔による術後疼痛の軽減の有無」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2024年1月1日～2025年11月30日の間に血管外植え込み型除細動器移植術を受けられた方

1. 研究課題名

「EV-ICD 移植術における神経ブロック併用と術後疼痛に及ぼす影響」

2. 研究期間

2026年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、心臓の治療に用いられる血管外植え込み型除細動器（EV-ICD）を植え込む手術で用いる痛みを和らげる麻酔方法の違いが、手術後の痛みや吐き気や嘔吐の起こりやすさに影響するかを明らかにすることを目的としています。過去に当院で行われた手術の診療記録を用いて、麻酔方法と手術後の症状との関係を調べる研究です。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、手術記録、麻酔記録のデータ。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：麻酔・疼痛・緩和医療科 医師 孫 慶淑

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院麻酔・疼痛・緩和医療科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。ただし、研究成果の発表後に参加拒否の申し出があった場合にはその限りではありません。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

麻酔・疼痛・緩和医療科 医師 盛 裕貴

043（222）7171 内線 73273